企業・団体名（　社会福祉法人山梨県共同募金会　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	雇用や昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築している。					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	セクシャルハラスメント防止規程を制定し、良好な職場環境の維持を推進している。					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	法令等に基づき適切に就業時間を管理するとともに、事務の簡素化、省力化を推進している。								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	外国人であるか否かに関わらず、労働者の差別・人権侵害がないことを確認している。				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	公用車の運転など交通法規の遵守を指導している。			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	メンタルヘルスに対応した休職規定を整備している。			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	職員誰もが活躍できる環境を整えている。					○			○		○							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	協会けんぽ及び勤労者共済組織に加入し、職員の福利厚生を図っている。			○					○									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	中央共同募金会が主催する研修会や会議等へ積極的に参加し、職員のスキルアップの機会を提供している。				○				○	○								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	労働契約法等の内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている。								○		○							

11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	廃棄物の適正な管理、分別を行っている。											○	○		○			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	不用な照明の消灯など省エネの取り組みを推進している。							○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	節電の取り組みなど温室効果ガスの排出量の削減に努めている。							○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	法令で規制されている有害化学物質を把握し、使用しないようにしている。																	
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	コピー用紙など環境に配慮した製品を選んで購入、使用している。															○		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	「非該当」当会単独での水利用はない。																	
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	「非該当」当会の事業、職員数では該当しないものと考えます。																	
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	「非該当」当会の事業、職員数では該当しないものと考えます。																	
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	「非該当」当会の事業、職員数では該当しないものと考えます。																	
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	「非該当」取り扱っていない。																	
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	施設管理者の指導に従い、ごみの分別やリサイクルを徹底している。						○					○	○	○	○	○		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	庶務規程に定め、行政機関に準じて服務規律を確保することとしている。																○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	不正競争行為に関与しないよう、実務を通じて指導を行っている。																○	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	ロゴマークなど広報用デザインを適切に管理している。								○	○								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	個人情報保護に関する規程等を定め、適切に対応するための態勢を構築している。																○	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	「非該当」取り扱っていない。																	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会	助成先の団体から事業報告書等の提出を求め、確認している。			○		○			○		○	○					○	○

28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	助成に関する要綱や要領を整備し、助成事業が適切に実施される仕組みを整備している。	○	○	○					○		○	○					○	○
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	助成事業の成果を見える化するため、ホームページ等で公表している。	○	○	○					○		○	○					○	○
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	「非該当」製品の製造、販売は行っていない。																	
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	「非該当」必要に応じ、助成対象事業の見直しを行っている。																	
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	社会福祉協議会等と連携しながら地域の福祉課題の把握に努め、助成事業の改善に反映している。			○								○	○					
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	本来業務として地域における民間の福祉活動を支援するための募金活動を行っている。			○								○	○					
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済	募金によって集められた寄付は県内の民間の福祉活動の支援に充てている。			○					○			○	○					
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	実務を通じて法令遵守の徹底を図っている。																○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	地域福祉の向上に貢献するという組織目標を職員が共有している。			○					○			○						○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	段階的チェックを厳守し、事務処理ミスや不正事案の発生防止を図っている。																○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	常勤の理事が事務局の事務執行を管理し、ガバメントの強化を図っている。																○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	常勤の理事が事務局の事務執行を管理し、ガバメントの強化を図っている。																○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会	社会福祉法人として法令、定款等に基づいて適切に社会福祉事業を遂行し、事業活動を通じて地域福祉の増進が図られるよう取り組みを進めている。																○	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	社会福協議会や福祉団体等の意見を聞きながら、適切な事業運営を行っている。																○	○
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	中央共同募金会との連携により体制を整備している。			○					○			○					○	

43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済	「共同募金活性化アクションプラン」を策定し、事業承継に関する対策を講じている。							○									○

【記載留意事項】
・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（２０２１年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むＳＤＧｓに関する内容（水素・燃料電池、４パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
民間の福祉活動に対する助成を通じて地域福祉の向上を図る。	山梨県における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活発化により、地域福祉の推進を図るため、共同募金事業を行う。	○	○	○					○		○	○					○	○